

わが校の歴史から

長い歴史に幕・統合 新たに「上市町立上市中央小学校」へ

上市町立上市中央小学校



いここいっぱい のびのび育つ

ちゅうおうっ子(合言葉)

昭和33年9月30日、上市小学校と音杉小学校の統合により、県内で初めて校名に「中央」を冠した、上市中央小学校が創校されました。児童数1,751名の大規模校として歩み出しました。今年度は、284名の中央っ子が在籍しています。

雄大な剱岳を望む自然豊かな校区で、地域の方々との体験活動や学びの場を大切に子供たちの成長を支えています。平成12年に校舎に併設された生きがいデイサービス「おたっしや家」のお年寄りとの交流活動も本校の特色です。

令和8年度より、本校と白萩西部小学校、陽南小学校の3校が統合し上市中央小学校の新たな歴史が始まります。今年度、新しい学校創りに向けて、多様な3校交流活動を進めました。この節目が子供たちにとって、よさや持ち味を生かし育ち続ける契機となることを願っています。

上市町立陽南小学校



太陽のように

大岩小学校と柿沢小学校が統合し、昭和58年4月に陽南小学校として開校しました。校名には、太陽のように明るくたくましい子供に育てほしいという願いが込められています。校舎の中央にそびえ立つ「カリヨンの鐘」の塔は、本校の自慢です。校歌に「陽南の鐘 ひびく園 心に太陽 火と燃える」とうたわれており、子供たちは朝夕に鳴る鐘の音を聴きながら、「太陽の子」を目指して学習や運動に励んでいます。

三世代交流活動や公民館と連携した運動会、福祉施設でのボランティア等の地域と関わる体験活動と、縦割り班活動やランチルームでの全校給食等の異学年交流活動を通して、子供たちは地域の人の温かさや多様な人とつながり合うことの楽しさと喜び、大切さを感じてきました。

令和8年度より白萩西部小学校、上市中央小学校と統合します。大勢の新たな仲間との出会いを楽しみ、互いに磨き合いながら、太陽のように明るく力強く、前へ進んでいってくれることを願っています。

上市町立白萩西部小学校



未来へつなぐ150年の歴史

本校は明治9年、「興原小学校」として開校しました。以来150年にわたり、校名変更や校舎移転等の変遷を経ながらも、地域に根ざした学校として、地域住民に愛され、多くの優れた人材を輩出してきました。

特色ある活動として、地域の公民館と連携し、学年に応じた内容で行う「地域ふれあい交流学習」があります。学校の運営計画や学年の指導計画に位置付け、地域の「ひと」「もの」「こと」と関わりながら学ぶ貴重な機会となっています。また、少人数を生かした縦割り班活動も盛んで、「子供発」の主体的な取組を通して、思いやりの心や粘り強く鍛え合う心が育まれています。

令和8年度には、陽南小学校とともに上市中央小学校へ統合されますが、これまで大切にしてきた「ふるさとで心豊かにたくましく、進んで学ぶ」精神を胸に、新たな一歩を踏み出し、新しい歴史を紡いでいってほしいと願っています。

上市町立白萩南部小学校 (1997年～休校 新上市町誌 2005.9.30) 閉校